

概要

8月31日(火)の2学年学術研究授業は、東北大学から酒井聡樹先生を講師として招いて行われた。酒井先生は東北大学大学院生命科学研究科に所属しており、今回の授業では「これから研究をする一高生のために」という題で講演をして頂いた。コロナウイルスの感染拡大に伴い、リモートでの講演会となってしまったが、今後学術研究を進めていくうえで非常に有意義な時間となった。

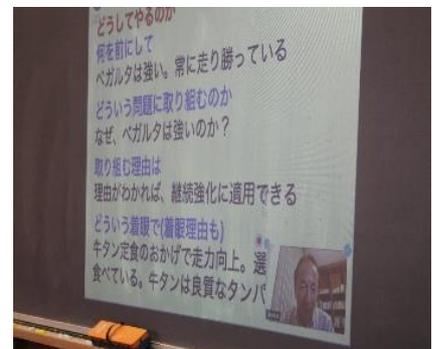


講演内容

酒井先生は講演の中で、研究発表において心掛けるべきこととして、「自分の興味」を「他者の興味」にすることを挙げ、そのためには研究の目的と意義を明確にして提示することが必要であると強調された。

また、研究の目的と意義を伝えるための方法について、①序論の書き方、②結果を分析する上で注意すること、③取り組むべき問題と結論を対応させること、④考察すべきこと、⑤分かりやすい研究発表の仕方の5つにまとめて紹介していた。以下はそれぞれについての重要なポイントである。

- ①序論について。聞き手が研究に興味を持つかどうかは、序論にかかっている。序論では、自分たちが今後どのような研究について発表するかを分かりやすく伝えるために、何をやるのか、どういうふうに研究を進めていくのかを、聞き手に強く印象づけることが重要である。
- ②自分たちの研究を分析してまとめる時に注意すべき点について。例をいくつか挙げて、研究の結果を正確に分析することの大切さについて話をしていた。
- ③研究において取り組むべき問題と結論を対応させることに関して。研究の核を構成する非常に重要なことであり、まとめに入る前に必ず確認する必要があると話された。
- ④考察すべきことに関して。研究班内で、何について知る必要があるのか、それを知るために考えるべきことは何かをしっかりと話し合い、自分たちの研究が何を目的としたのかを考えながら考察すべきだとお話された。
- ⑤研究発表の仕方について。伝えたいことは紙に大きく書き、話すときははっきりと、長い言葉は短くなどの助言をくださった。



生徒の感想

○ポスター発表に向けて、どのような発表をしようか考えている最中だったので、本当に役立つことを聞いて良かった。研究発表は「自分の興味」を「他者の興味」にすることだと聞いて、発表の本質が理解できた気がした。序論は、中間発表の際も考えるのが大変だったが、着眼点が大切だと分かった。今日聞いたように、何をやるのか、どうやるのか、しっかり段階を踏んで書いていきたいと思った。序論と結論がずれないように、結論を書いてから、問題提起を書くということを実行していきたい。

○今回の講演を聞き、自分にとって重要だと感じたことが2つあった。1つ目は、研究発表の伝えたい相手は他者であるということだ。自分が1年生の頃にした学術研究を思い返すと、色々なことを調べてはいたが、専門用語や理解しにくい内容などをそのまま発表に取り入れて、聞き手は聞きにくかったらと思う。発表を初めて聞く人は自分たちの研究や試行錯誤を見てきたわけではないので、できるだけ簡略で見やすい発表が大切なのだと知った。

2つ目は発表で伝えるのは研究課程ではなく、研究成果であることだ。酒井先生のお話の中で「当初設定した問題と研究内容がずれることは多い」や「結果がわからなかったも十分な結果」という言葉があり、私は驚いた。どうしてもそういったことが起きると自分は「だめだ」と悩んでしまうが、今回の講演を聞き、考え方が変わった。研究発表という1つの大きな柱を中心に自分たちの研究内容や他の研究内容をくっつけていく、そういった方法で発表を考えていきたいと思った。この講演で、多くの学びを得られたこと、そしてこの機会を与えてくださった方々に感謝し、今回のことを学術研究、大学での研究などに生かしていきたい。

○結論に関しては、結論を実行するより、問題提起を結論に合わせて、後から書くということは実際にやってみたいと思えた。研究が何度か方向性を変えながら進んだので、複雑でわかりにくいということにならないよう結論を考えたい。また、考察について、今までどのように書くべきか苦戦してきたが、取り組んだ問題の答えや結果の検討など、書くべきことを詳しく教えていただき、見通しが立てられたと思う。その中でも、対立仮説と比較して検討することは整合性や説得力を持たせるのに効果的だと思った。ポスターやスライドなどの発表形態、分かりやすい方法や注意点もこれからの活動で十分役立てると思った。長い言葉の要約や文章でない絵的な説明など、考慮すべき点や工夫、努力できる点も学べて良かった。今回のお話と自分達の研究を踏まえて、これからのまとめ、発表の作業にも力を入れていきたいと思った。

○発表に関しては「自分の興味を相手の興味に」という言葉が特に印象的でした。これから研究を進めていくにあたっても常に相手に伝えることに留意し、明快で魅力的な発表に努めていきたいです。

編集後記

今回の講演会は我々の今後の研究に役立つであろうとても有意義なものであった。この経験をしっかり活かしたい。

